

令和7年度 商業科「財務会計Ⅰ」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	情報処理科 2年C組
教科書	新財務会計Ⅰ（実教出版）	副教材等	最新段階式 簿記検定問題集2級・1級会計（実教出版）

1 学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

（２）企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。

（３）会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度をやしなう。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1編 財務会計の基礎	第1章 企業と会計	・企業会計の意味と役割を明らかにして機能を理解する。	財務会計の基礎について理解できたか。
		第2章 企業会計制度と会計法規	・企業会計原則の意味と具体的な適用例を理解する。	定期考査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。
		第3章 貸借対照表のあらまし	・報告式貸借対照表の概要を理解する。	
5	第2編 貸借対照表	第4章 資産の意味・分類・評価	・流動資産、固定資産の分類を学習する。	例題に主体的に取り組む思考、判断ができているか確認する。
		第5章 流動資産	・有価証券の取得・売却の仕訳例題を多く解き計算方法を理解する。	
		中間考査		考査得点
		第6章 流動資産		
6		第7章 固定資産（１）	・期末棚卸高の計算方法を学習する	小テストを行い、知識・技能が身に付いたか確認する。
		第8章 固定資産（２）	・固定資産の減価償却、除却、買い替えの計算方法を理解する。	
		第9章 固定資産（３）	・無形固定の性質を理解する。	
		第10章 負債の意味と分類	・子会社株式、関連会社株式の期末評価のやり方を学習する。	
		第11章 流動負債		
		第12章 固定負債	・流動負債に属する科目を理解する	
7		第13章 純資産の意味と分類	・社債の評価、償還を理解する。	
		期末考査		考査得点
9		第14章 資本金	・資本金と資本剰余金の仕組みを理解する。	14、15、16章は混乱しやすい単元なので練習問題を通じて思考・判断・表現を確認する。
		第15章 資本剰余金	・利益剰余金と利益準備金の違いを理解する。	
		第16章 利益剰余金	・自己株式の意味、処分、消去を学習する。	
		第17章 自己株式	・練習問題に取り組み表作成の流れを理解する。	
		第18章 貸借対照表の作成	・2級の損益計算書との違いを学習する。	
10	第3編 損益勘定	第19章 損益計算書のあらまし		
		第20章 損益計算書の意味と基準	・売上高と売上原価を関連付けながら学習する。	小テストを行い知識・技能、主体的に学習に取り組む態度を確認する。
		第21章 売上高	・損益計算書の重要な単元なので分類できるように学習する。	
		第22章 売上原価	・練習問題を多く取り入れ慣れながら学習する。	
		第23章 営業外収益・営業外費用	・株主資本等変動計算書の記入方法を学習する。	
		第24章 特別利益・特別損失		
		第25章 損益計算書の作成		
11		第26章 その他の財務諸表		

1 2	第4編 財務諸表の活用	第27章 財務諸表のディスクロージャ 期末考査	・企業が自社の情報を開示する必要性を理解する。	考査得点
1		第28章 財務諸表分析	・財務状態、経営成績の良否を調べて原因を明らかにする計算式を学習する。	小テストを行い知識・技能、主体的に学習に取り組む態度を確認する。
2		第29章 連結財務諸表	・連結財務諸表の重要性を理解する	
3		第30章 連結財務諸表の作成(1) 第31章 連結財務諸表の作成(2) 総合演習(1) 総合演習(2) 期末考査	・子会社の資産・負債の時価評価を学習する。 ・親会社と子会社での相殺消去の仕訳を学習し、理解する。 ・総合演習問題を解いて1年間の復習を行う。	
				考査得点

3 評価の観点

知識・技術	財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、基礎となる仕訳・計算の仕方・作表の技能を身につけている。
思考・判断・表現	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。

4 評価の方法

「知識・技術」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価基準に従い、総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ

難しい仕訳や計算が出てくるので、その場限りにしないで復習をしっかりと行い、わからない時は質問をすること。欠席・遅刻が多いと授業について来られないので極力欠席・遅刻をしないこと。
--